

# ダイバーショナルセラピストは入居者の代弁者 職場でのDT実践の気持ちを新たに

(株)ホームケアサービス山口 のんびり村花岡 津森陽子(第9期DTW/山口)



私は今回初めてオーストラリアDT研修に参加させていただきました。社内の先輩DTワーカーから聞いていた現地のDTを、実際に自分の目で確かめることが出発前から何よりも楽しみでした。そして事務職の私にとって、本場のDTに触れることで自分にできることのヒントがあればいいなという期待もいっぱい参加でした。

到着した初日からの施設見学でしたが、どの施設も清潔感があり広々として時間がゆっくりと流れている気がしました。入居者の服も好きな色やデザイン、部屋は趣味の物に囲まれて個性的でした。働いているDTWさんも他のスタッフも皆笑顔が印象的でした。

ゴールドコーストでの2日間にわたるDTA National Conferenceではダイバーショナルセラピストのプレゼンテーションを同時通訳で直接聞くことができましたが、DTとしての仕事に自信を持って熱心に取り組んでいる様子がよく分かりました。

初日のカクテルパーティー後には「バーで飲みましょう!!」とDTAの方に誘われ、一緒に参加していた職場の3人で日頃のDTの取り組みの写真を持参しました。ワインを片手に片言の英語と身振り手振りに筆談で説明しながら楽しい時間を過ごしました。すぐに打ち

解けることができたのは国が違っても同じDTだからでしょうか。本当に楽しい夜でした。

印象に残った言葉があります。「実践にルールはない」「ダイバーショナルセラピストは介護をしないので、入居者の代弁者(第三者)となることも大切な仕事」。これは直接介護をしない私にとってまさに自分にできること。職場に戻ったら、入居者ともっと話してみよう、そしてその人をもっと知ることからやってみようと思いました。

このツアーは私にとってのDTだったようで、職場でのDTの実践に対しての気持ちをまた新たに持たせてくれました。こんな素敵な機会を作ってくくださった芹澤先生、そしてご一緒できた参加者の皆さん、ありがとうございました!



認知症の方が自由に歩き回れるガーデン。ソファもたくさん置かれていた



ワイン片手に、持参したDT活動の写真を見せながら、DTAメンバーと盛り上がった